

Introduction

～ まちの人紹介 ～



ホテル日の出岬 料理長

大草 俊也 さん (新沢木)

「洋食から初め、中華や和食などやってきました」
 手職的な仕事に就きたくて、周りの影響もあり、調理の世界へ。「調理師の学校を卒業後は、レストランやホテルの厨房で仕事をしていました。北海道を離れた時期もありましたが、私が長男ということもあったので、北海道へ戻ってきました」
 その後、道内で腕をふるっていた大草料理長が、ホテル日の出岬に就職したのは理由がありました。前職で一時期離れていたホテルの厨房で、また仕事をしたいという思いがあったのです。

「働いていてうれいときは、やっぱりお客さんに喜んでもらったときですね」、「何か月か働いてきて地域の人の好みが見えてきました。たとえば漁師さんだと、ガッツリ系のメニューで肉料理を好まれる人が多いのかなと思います。今月も提供している豚丼などは、レストランでも人気のメニューです」と話す大草さん。「10月は、フレンチ風にヒレ肉の上にフォアグラを乗せた料理を提供しました。思っていたよりもリアクションがあり、気に入っていただけのお客さんもいたようでよかったです」と笑顔を見せます。

「なかなかうまくいかないことも多く、大変な面もありますが、いろいろと試行錯誤していくのも面白いです。今後は地元の食材を、お客さまに喜んでもらえる形で、提供できるようにレストランにしていきたいと思っています」
 大草さんが考案する今後のレストランメニューに期待です。

雄武町民憲章 (町民の誓い)

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

▼今月号の広報作成では、急なお願いにもかかわらず取材を快く受けてくださった亥年生まれの皆さんありがとうございました。新年も取材でいろいろなお邪魔しているところも思っています。皆さんのところにも取材に伺うことがあるかもしれませんので、よろしくお願いいたします (大辻)

◆編集後記
Editor's note

▼今年もよろしくお願いたします。年が明けて平成 31 年が始まりましたが、昨年から「平成最後の」というキーワードが多く聞かれました。数か月後には平成が終わり、新たな元号が始まります。節目の年が皆さんにとって穏やかで素晴らしい一年になりますように。(内宮)